

授業科目	* 専門演習 I B (偶数)				単位	1				
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	TO21804J			
開講年次	2 年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP5-1					
担当教員	高橋 幸夫									
授業概要	<p>企業は大学卒業生に「即戦力」を求めていると言われる。その即戦力とは、業務知識だけではなく、情報を収集・整理し、レポートを作成し、議論を重ねながら、問題を解決していくための基本的な能力を身につけているかどうか、ということも意味すると思われる。</p> <p>本講義では企業に求められている「即戦力」の一部となる「文献の読解と要約の方法」、「レポート・論文を書く方法」及び「プレゼンテーションの方法」を学ぶことを目標に、授業を進める。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<p>1.文献の読解と要約の方法を身に付けることができる。</p> <p>2.良いレポート・論文を書く方法を身に付けることができる。</p> <p>3.良いプレゼンテーションの方法を身に付けることができる。</p> <p>4.論理的思考の基礎を習得できる。</p>									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	50	0	20	20	0	10	100			
知識・理解 (DP1-1)	10		10				20			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)	30		10	10			50			
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)										
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)	10		10	10			30			
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
示されている4つの到達目標を達成することができると同時に、習得した知識を活かしてレベルが高いレポートの作成や発表ができる。					示されている4つの到達目標を達成することができる。					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション	講義	該当部分の復習・予習	60
2	研究テーマの明確 文献の読解と要約の方法	講義	該当部分の復習・予習	60
3	情報収集の基本の学習	講義	該当部分の復習・予習	60
4	情報資料の読み方の学習	講義	該当部分の復習・予習	60
5	文書構成の学習、レポートの作成について	講義	該当部分の復習・予習	60
6	レポートの作成、口頭発表	講義	該当部分の復習・予習	60
7	レポートの作成、引用・参考文献の書き方	講義	該当部分の復習・予習	60
8	クラスでの口頭発表とディスカッション(1)	講義	該当部分の復習・予習	60
9	クラスでの口頭発表とディスカッション(2)	講義	該当部分の復習・予習	60
10	講評、文章作成の留意点(1)	講義	該当部分の復習・予習	60
11	クラスでの口頭発表とディスカッション(3)	講義	該当部分の復習・予習	60
12	クラスでの口頭発表とディスカッション(4)	講義	該当部分の復習・予習	60
13	プレゼンテーション 発表用のPPT資料の作成	講義	該当部分の復習・予習	60
14	ディベート (AB 合同での実施)	演習	該当部分の復習・予習	60
15	総合講評 (2)	講義	総復習 & 最終版レポート提出	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「専門演習 1B」を学ぶ意義を理解してもらう必要がある。			
テキスト	教材については担当者が四月に伝えます。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	論文・レポート作成に留意して欲しい事項をプリントして配布する。文献に関しては随時紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>新聞の社説を読むこと。</p> <p>先行文献や論文を読むこと。</p> <p>大学図書館での情報収集をよくすること。</p> <p>人とのコミュニケーションを積極的にすること。</p> <p>クラス分けは、学籍番号偶数の人は高橋先生クラス、奇数の人は林先生クラスです。</p>			
達成度評価に関するコメント	試験及びレポートの内容については、授業中で指示をする			